

# [ 行政 ] 課 行政 経営 計画 書 ( 総 括 表 )

## ■事務事業の総括

No.	事務事業名
1	法制執務事務事業
2	情報公開・個人情報保護・文書管理事業
3	非核平和推進事業
4	行政対応事務事業
5	設計・契約等適正化事業
6	財産管理事業
7	公用車管理事業
8	情報系システム運用事業
9	基幹系システム運用事業
10	選挙管理委員会事業
11	各選挙事業
12	統計事業
13	土地取得特別会計事業

# 令和4年度 事業別行政経営計画書

所属名	行政課	No.	1
事業名	法制執務事務事業		

## ■基礎情報

目的	法規等に係る事務を適切に行うことで町行政運営の維持向上に努める。	
事務内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 例規審査会の開催</li><li>・ 例規審査会事前内容確認</li><li>・ 法規等追録</li><li>・ 例規集追録</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 法令、例規システム管理等</li><li>・ 告示、公告事務</li></ul>
現在における経過又は課題	<ol style="list-style-type: none"><li>1 法律の改正が多く行われ、それに伴う条例等の改正を必要とする件数が増加している。</li><li>2 人事異動を見据えて例規審査事務に支障が無いよう、人材育成に努めている。</li><li>3 公告・告示の意味合いを十分に把握しているとは考え難い事案が時折見受けられるので、制度の周知徹底に努める必要がある。</li></ol>	
令和4年度の目標又は改善策	<ol style="list-style-type: none"><li>1 法令の改廃や例規整備に関する情報収集サービス等を活用し、各課担当職員への情報提供を充実させ、遺漏なく例規の制定、改廃を行う。</li><li>2 定年延長、改正個人情報保護法に対応するため、関係職員への情報提供・情報共有に努め、適切に例規の制定、改廃を行う。</li></ol>	

## ■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第6章	持続可能な地域経営				
	基本政策	第2節	行財政経営				
成果指標	—						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 目標値	R4 目標値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値

## ■ 3年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国、県の法令改正等の情報収集に努めつつ、適切な例規整備を行う。</li> <li>・本町の例規整備において、法令等の考え方、通知通達に即した考え方の浸透に努める。</li> </ul>					
	項目(単位)	R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標

## ■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R5 年度	・国、県の法令改正等の情報収集に努めつつ、適切な例規整備を行う。
R6 年度	・国、県の法令改正等の情報収集に努めつつ、適切な例規整備を行う。

## ■ 作業工程 (当該年度)

月	作業内容
4	
5	例規審査会
8	例規審査会
11	例規審査会
2	例規審査会
随時	例規システム内容更新 例規集の追録(データ整備・都度)

## ■目標又は改善策に対する取組内容

令和5年4月施行の改正個人情報保護法に向けて条例制定・廃止を行った。  
定年延長・役職定年制導入に係る例規整備において、政策推進課に協力して適切な対応を行った。

## ■評価

令和5年4月施行の改正個人情報保護法に向けた条例制定・廃止について、他市町村に遅れることなく12月議会定例会に上程することができ、改正法施行に合わせて施行することができた。

# 令和4年度 事業別行政経営計画書

所属名	行政課	No.	2
事業名	情報公開・個人情報保護・文書管理事業		

## ■基礎情報

目的	<p>情報公開により町民の町政に対する理解と信頼を深め、参加を促進する。</p> <p>個人情報について、その利用が著しく拡大していることを鑑み、各課職員に情報の適正な取扱いをするよう注意喚起を促すとともに、町の実施機関が保有する個人情報の開示、訂正等を請求する権利を明らかにすることにより、個人の権利利益を保護し町政の公正で適正な運営を図る。</p>	
事務内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 情報公開・個人情報保護審査会事務局</li><li>・ 情報公開・個人情報・特定個人情報事務手続き</li><li>・ 公文書回収運搬（機密文書破碎廃棄）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 永年・10年保存文書管理</li><li>・ 文書管理システムの管理運営</li></ul>
現在における経過又は課題	<p>文書保管庫（北倉庫）の保管スペースの確保、保管環境の整備について、引き続き検討を要する。</p> <p>改正個人情報保護法への対応を適切に行う必要がある。</p>	
令和4年度の目標又は改善策	<p>保存文書の点検・整理や保管物品の移動等による、既設倉庫の物理的なスペース確保を図る。</p> <p>文書管理システムの利用促進と電子決裁によるペーパーレス化に引き続き取り組む。過去の保存文書のデータ化、文書（公文書、歴史的資料）の保存基準・方法、それに適った文書管理方法について検討を始める。</p> <p>町の保有する個人情報・特定個人情報について、制度の目的に即した適切な判断に基づき、情報公開及び個人情報、特定個人情報保護を行う。</p>	

## ■第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第6章	持続可能な地域経営				
	基本政策	第3節	情報発信・共有				
成果 指標	個人情報漏洩件数						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値
0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件

## ■3年間の目標

目標	各職員に情報の適正な取扱いをするよう注意喚起し、個人情報保護制度の適正な運用に努める。					
	項目(単位)	R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標

## ■2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R5 年度	・eラーニングを活用した研修を実施する。
R6 年度	・eラーニングを活用した研修を実施する。

## ■作業工程 (当該年度)

月	作業内容
10~	機密文書の廃棄

## ■目標又は改善策に対する取組内容

文書の保存年限の見直しを行い、北倉庫の保存スペースの確保に尽力した。
------------------------------------

## ■評価

健康福祉部の事案につき、所管課の相談を受けながら適切な対応ができたと認識している。
---

# 令和4年度 事業別行政経営計画書

所属名	行政課	No.	3
事業名	非核平和推進事業		

## ■基礎情報

目的	昭和60年9月に行った「非核平和宣言」にもとづき、恒久平和と核兵器の廃絶を訴えるとともに、平和意識の高揚を図るため、各種啓発、催事等を実施する。
事務内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 広島長崎原爆パネル展の開催</li><li>・ 中学生の広島平和記念式典への派遣</li><li>・ 大口町平和祈念式の開催</li></ul>
現在における経過又は課題	昭和60年9月に非核平和宣言をして以降、大口町が積み重ねてきた非核平和の取り組みの継続と啓発が必要である。 戦争体験の語り部が年々減っていく中、今後について検討する必要がある。
令和4年度の目標又は改善策	兵器の恐ろしさ、戦争の悲惨さ、平和の大切さを改めて考える機会として、前年度に引き続き、「非核平和パネル展の開催」、「広島平和記念式典への大口中学校2年生の派遣」、「平和祈念式の開催」を実施する。 世界、国内各都市の非核及び平和行政の動きを注視するとともに、核兵器廃絶に向けた意識喚起等に連帯して取り組む。

## ■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第4章	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する				
	基本政策	第3節	多文化共生・交流・平和				
成果指標	/						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 目標値	R4 目標値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値

## ■ 3年間の目標

目標	大口中学校2年生の平和学習を軸に、非核平和事業を実施する。					
	項目(単位)	R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標

## ■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R5 年度	・核兵器の恐ろしさ、戦争の悲惨さ、平和の大切さを風化させないよう繰り返し平和事業を実施する。
R6 年度	・核兵器の恐ろしさ、戦争の悲惨さ、平和の大切さを風化させないよう繰り返し平和事業を実施する。



## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
7	パネル展の開催 核兵器廃絶あいち平和行進が来庁 広島派遣中学生結団式及び研修会
8	広島平和記念式典に中学生派遣 大口町平和祈念式（中学生の派遣報告など）
10	県内被爆者行脚（愛友会）が来庁

## ■目標又は改善策に対する取組内容

令和2年度、3年度中止となった広島平和記念式典への大口中学校生徒の派遣を再開した。2年生・3年生の代表生徒を派遣し、夏休み中に実施していた報告を始業式に合わせて行い、全校生徒に対しての報告とした。

## ■評価

広島平和記念式典が厳重警戒態勢の中実施されており、献花等見込みどおり進まなかったことはあったが、混乱もなく、無事実施することができた。

# 令和4年度 事業別行政経営計画書

所属名	行政課	No.	4
事業名	行政対応事務事業		

## ■基礎情報

目的	郵便管理業務等の行政事務の円滑な運用を図る。 住民の窓口ともなる宿日直業務の管理運営 固定資産評価審査委員会、行政不服審査会の運営 指定管理者審議会の運営	
事務内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 固定資産評価審査委員会</li><li>・ 指定管理者審議会</li><li>・ 行政不服審査会</li><li>・ 新聞購読、在庫消耗品管理</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 郵便管理業務</li><li>・ 電話交換業務</li><li>・ 宿日直、法律相談委託業務</li><li>・ 町名案内板管理</li><li>・ 自衛官募集事務</li></ul>
現在における経過又は課題	電話交換業務、郵便管理業務、宿日直業務等の通常業務を問題なく運用する。 行政不服審査法に基づく審査請求、固定資産評価に対する審査請求に対し、迅速・適正な審査に臨める体制維持が必要である。	
令和4年度の目標又は改善策	大口町スポーツ施設及び大口町温水プールの指定管理者について中間評価を行う。 適格請求書等保存方式（インボイス制度）の実施に向けた対応策の検討を行う。	

## ■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第6章	持続可能な地域経営				
	基本政策	第2節	行財政経営				
成果 指標	受付・窓口における町職員の対応に対する住民の満足度						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値
67.3%	73.5%	68.0%	-	-	-	-	78.0%

## ■ 3年間の目標

目標	電話交換業務、郵便管理業務、宿日直業務等の通常業務を問題なく運用する。 適格請求書等保存方式（インボイス制度）の実施にむけて大口町コミュニティー・ワークセンターとの委託料の算定に関する協定について見直しを含めた対応を行う。					
	項目（単位）	R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標

## ■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R5 年度	・ 電話交換業務、郵便管理業務、宿日直業務等の通常業務を問題なく運用する。
R6 年度	・ 電話交換業務、郵便管理業務、宿日直業務等の通常業務を問題なく運用する。

## ■ 作業工程（当該年度）

月	作業内容
5 7～	指定管理者審議会準備 指定管理者審議会 (大口町スポーツ施設及び大口町温水プールの指定管理者中間評価)

## ■目標又は改善策に対する取組内容

適格請求書等保存方式（インボイス制度）の実施に向け、大口町コミュニティー・ワークセンターとの委託料の算定方法を見直した。会員負担となる消費税相当額分につき、調整費の名目で上乗せする方法とした。

大口町スポーツ施設・大口町温水プールの指定管理者の中間評価について、コロナ過での対応を中心に中間評価を行った。

## ■評価

宿日直者の取扱う戸籍事務について、大口町コミュニティー・ワークセンター会員の要望に応じ、事務説明会を実施することができ、宿日直業務遂行の一助になったと認識している。

# 令和4年度 事業別行政経営計画書

所属名	行政課	No.	5
事業名	設計・契約等適正化事業		

## ■基礎情報

目的	各種案件の設計審査、入札、検査等及び入札参加資格に関する適正な執行を図る。
事務内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・入札参加資格審査業務</li><li>・設計内容の審査、業者選定、入札・契約・検査に関する業務</li></ul>
現在における経過又は課題	<p>入札契約適正化法並びに公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律施行令で規定される義務付け事項の他、公共工事の品質確保の促進に関する法律において、一般競争入札の拡大、総合評価落札方式の導入、活用、ダンピング対策の導入状況や施工時期の平準化の取組について求められている。</p> <p>国・県、市町村共通課題のうち、近年重点事項とされているのは、施工時期の平準化と週休2日工事の取組であるが、後者は制度導入されていない市町村がまだ多く残っているものの、前者については、当町の実績は県内平均を大きく下回っており課題となっている。</p>
令和4年度の目標又は改善策	<p>公共工事の品質確保の促進に関する法律に基づき、公共工事の品質確保の促進の意義や施策に関する施策を総合的に推進するための基本方針の中で、計画的な発注、施工時期の平準化とともに適正な工期設定及び適切な設計変更が求められており、愛知県においても、施工時期の平準化への取組と週休2日の確保を含む適正な工期設定を重点項目として推進している。</p> <p>施工時期の平準化の方法として、債務負担の活用や速やかな繰越手続き等事例も挙げられているが、現行の予算執行で可能な範囲で、例年、下半期に集中する工事発注について、発注時期を現行より前倒し、発注者受注者とも適正な施工と管理が可能となるよう各課と調整改善していく。</p>

## ■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第6章	持続可能な地域経営				
	基本政策	第2節	行財政経営				
成果指標	/						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 目標値	R4 目標値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値

## ■ 3年間の目標

目標	各種案件の設計審査、入札、検査等及び入札参加資格に関する適正な執行を行う。					
	項目(単位)	R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標

## ■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R5 年度	・ 公共工事の入札及び契約の適正化を図る。
R6 年度	・ 公共工事の入札及び契約の適正化を図る。

## ■ 作業工程 (当該年度)

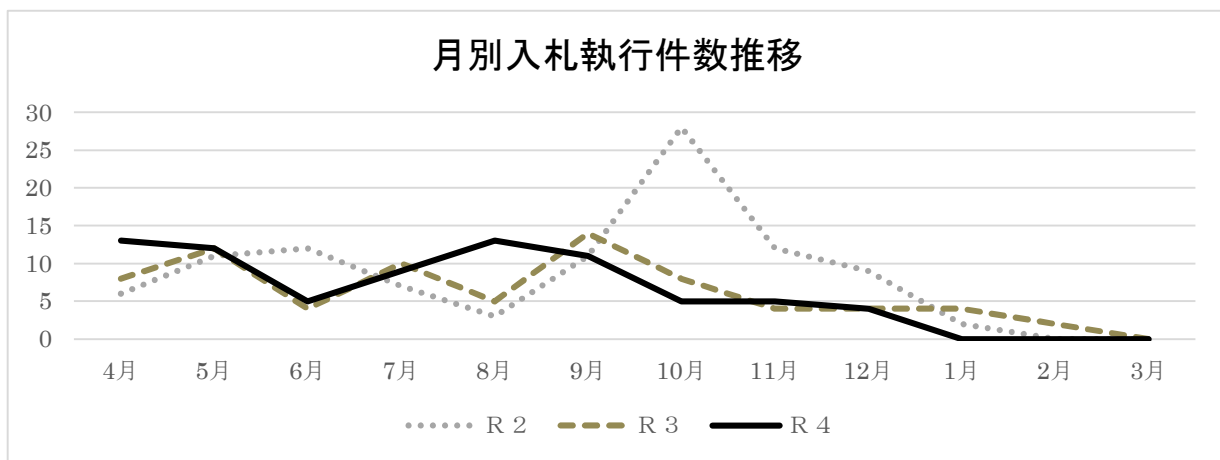
月	作業内容
	【制限付一般競争】単年工事の場合
4	入札公告条件決定
5	入札公告及
6	開札、事後審査、契約議決
4～	新方式の工事成績評定試行導入

## ■ 目標又は改善策に対する取組内容

関係各課と調整し、工事発注時期の平準化や前倒しに努めた。

## ■ 評価

発注時期の平準化や前倒しに努めてきた結果、過去3年度の月別発注件数の推移を比較すると概ね目標は達成できている。



# 令和4年度 事業別行政経営計画書

所属名	行政課	No.	6
事業名	財産管理事業		

## ■基礎情報

目的	庁内管理規則の規定により、本庁舎の使用の規制及び秩序の維持に努め、もって本庁舎における公務の円滑かつ適正な執行を確保する。	
事務内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 庁舎消耗品、備品管理</li><li>・ 庁舎施設、設備等の保守管理</li><li>・ 公共施設の施設賠償保険、現金動産等の保険加入、適用等の事務</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 町有財産の維持管理、売払い</li></ul>
現在における経過又は課題	<p>役場庁舎玄関自動ドアのガラス扉が上下2面しかフレームに覆われておらず、左右のガラス面が露出しているため、強い衝撃で破損の恐れがあり、町民が必ず通る場所でもあるため危険な状態となっているため、ロスカドアへ変更することにより、4面フレーム化し衝撃による破損を低減する必要がある。</p> <p>正副議長室の空調機が経年劣化により水漏れが発生しており、空調の効きも悪くなっているため、取替修繕を行う必要がある。</p>	
令和4年度の目標又は改善策	<p>課題となっている箇所の修繕を早急に行っていく。</p> <p>また、町議会議員出退表示及び役場からのお知らせ（行事等）表示を行うための、出退表示システムの導入及び、NTTひかり電話オフィスを導入し、電話代などを削減し、効率のよい業務運用を行っていく。</p>	



## ■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第6章	持続可能な地域経営				
	基本政策	第2節	行財政経営				
成果指標	/						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 目標値	R4 目標値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値

## ■ 3年間の目標

目標	・庁舎の長寿命化を目指し、計画的な修繕等に努める。					
項目(単位)	R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	

## ■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R5 年度	・役場庁舎の適切な修繕等に努める。
R6 年度	・役場庁舎の適切な修繕等に努める。

## ■ 作業工程 (当該年度)

月	作業内容
毎月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エレベーター点検</li> <li>・空調機点検</li> <li>・空気測定</li> <li>・電気設備点検</li> </ul>

## ■目標又は改善策に対する取組内容

出退表示システムの導入については、効果・コスト面から導入を見送った。  
電気代高騰への対処として、急遽ブルーヒーターを導入し、併用することでピーク電力の急騰を防ぎ、電気代の抑制に努めた。

## ■評価

予算措置の手法に反省すべき点があったが、電気代高騰への対処が速やかに実施できたことは良かった。

# 令和4年度 事業別行政経営計画書

所属名	行政課	No.	7
事業名	公用車管理事業		

## ■基礎情報

目的	公用車15年更新計画に基づき、購入及びリースを計画的に行い、適正な公用車の管理・維持に努め、公務の円滑な執行を確保する。	
事務内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 公用車消耗品・備品管理</li><li>・ 公用車の保守・維持管理</li><li>・ 公用車の賠償保険、新車の保険加入等の事務</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 公用車買い替え事務</li><li>・ 公用車事故等の対応</li><li>・ 燃料単価契約事務</li><li>・ 公用車（1、2、3号車）運転委託事務</li></ul>
現在における経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 3号車（ミライ）の稼働が少ないため、3号車という扱いを外し、他の公用車と同様の一般集中管理扱いとするか検討する必要がある。</li></ul>	
令和4年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 公用車15年更新計画に沿って、公用車を安全に使用できるように、公用車を大切に使用するような啓発に努める。</li></ul>	

## ■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第6章	持続可能な地域経営				
	基本政策	第2節	行財政経営				
成果指標	/						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 目標値	R4 目標値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値

## ■ 3年間の目標

目標	公用車の計画的な更新計画を策定し、実施する。					
項目(単位)	R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	

## ■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R5 年度	・ 公用車15年更新計画に沿って、適正な管理と更新を行っていく。
R6 年度	・ 公用車15年更新計画に沿って、適正な管理と更新を行っていく。

## ■ 作業工程 (当該年度)

月	作業内容
毎月	31台ある公用車の6か月点検、1年点検、車検の実施

## ■目標又は改善策に対する取組内容

## ■評価

3号車（ミライ）について、管理職が出席する会議、環境関係の会議に係る出張利用を可とする運用としたが、未だ稼働が少ない状況である。担当職員が事務で利用することに異を唱える意見もあり、引き続き、運用について見直しと周知を図る必要がある。

# 令和4年度 事業別行政経営計画書

所属名	行政課	No.	8
事業名	情報系システム運用事業		

## ■基礎情報

目的	各課の課題への対応、かつ、住民サービス向上のために今日の行政事務に不可欠な要素の一つとして、「情報系」コンピュータ等が設置されている。その電子計算組織（情報処理システム）の円滑な運営及び安定稼働を目的とする。	
事務内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・セキュリティ対策</li><li>・情報系システム（グループウェア）運用支援</li><li>・セキュリティポリシー</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・LGWAN 管理</li><li>・LGWAN 利用系とインターネット接続系の適正な運用管理</li><li>・情報系システムの機器保守</li><li>・セキュリティ監査・監視</li></ul>
現在における経過又は課題	<ol style="list-style-type: none"><li>1 ネットワーク強靱化（インターネット分離）して 6 年を経過し保守延長不可能な製品があることから、令和 4 年度中に機器更新を行う必要があるが、半導体不足からパソコン・サーバー機器の価格が上昇しており更新費用が高額である。</li><li>2 行政手続きのオンライン化を推進していく必要があるが、オンライン化されている手続数が少なく、また住民からの利用者も少ない。</li></ol>	
令和 4 年度の目標又は改善策	<ol style="list-style-type: none"><li>1 あいち情報セキュリティクラウドの更新に合わせて更新する機能の見直しを行い、ネットワーク強靱化で導入した機器類を適切に更新する。また、クラウドサービスを積極的に利用して、庁内設置機器数を減少させる。</li><li>2 オンライン申請可能な手続きの拡充を図るとともに、周知を広く図る。</li></ol>	

## ■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第6章	持続可能な地域経営				
	基本政策	第2節	行財政経営				
成果 指標	受付・窓口における町職員の対応に対する住民の満足度						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値
67.3%	-	-	-	-	-	-	70%

## ■ 3年間の目標

目 標						
	項 目（単位）	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R6 目標
	ファイルサーバー	更新				仕様検討
	地理情報システム	更新				仕様検討
	ネットワーク強靱化		仕様検討	更新		
	ネットワーク機器更新	仕様検討	更新			
	LGWAN 系システム更新			仕様検討	更新	
	グループウェア更新				仕様検討	更新

## ■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R5 年度	LGWAN 系端末更新を検討（継続利用含む）
R6 年度	グループウェア更新を検討（継続利用・庶務事務システム導入・他システム統合を含む）

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	ネットワーク強靱化（インターネット系）システム更新指名通知発出
5	ネットワーク強靱化（インターネット系）システム更新競争入札執行
6	ネットワーク強靱化（インターネット系）システム更新契約締結
12	ネットワーク強靱化（インターネット系）システム更新完了
	あいち情報セキュリティクラウド次期システム接続準備（契約締結）
3	あいち情報セキュリティクラウド次期システム接続完了
随時	LGWAN系システム（サーバー・クライアント）更新検討・仕様策定

## ■目標又は改善策に対する取組内容

インターネット系システムの更新を行った。費用面・各課の電子会議の需要を考慮して、ファイル転送機能の導入に代え、各フロアに1台インターネット系端末を配置することとした。

## ■評価

町のシステム更新、あいちセキュリティクラウドの更新の都度、設定変更が必要となったが、担当職員が速やかに対応し、業務に影響なく運用することができた。



# 令和4年度 事業別行政経営計画書

所属名	行政課	No.	9
事業名	基幹系システム運用事業		

## ■基礎情報

目的	住民のサービス提供のために今日の行政事務に不可欠な要素の一つである、情報網で接続された電子計算機器からなる基幹系電子計算組織（情報処理システム）の円滑な運営及び安定稼働を目的とする。	
事務内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 総合住民情報システムの安定</li><li>・ 法令改正等によるシステム改修</li><li>・ 機器、システムの保守</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 不正アクセスの監視</li><li>・ 大口町データ管理委員会</li><li>・ 大口町電子計算機運営委員会</li></ul>
現在における経過又は課題	<ol style="list-style-type: none"><li>1 番号制度の運用により提起された課題に対応するとともに健康診査結果の情報連携開始ほか、定期的に国のシステムの改修があり、これに対応する必要がある。</li><li>2 行政デジタル化に伴い、AI・RPAの導入拡大、電子申請環境整備等が求められる。</li><li>3 国の進める自治体システム標準化に対応する必要がある。</li></ol>	
令和4年度の目標又は改善策	<ol style="list-style-type: none"><li>1 社会保障と税番号制度については、国のシステム改修に伴い個別に庁内システムの改修が必要かどうかを個別に検討する必要がある。国の通知を注視するとともに、システム業者と連絡を密にして対応するとともに、年金の情報連携など大幅な改修についてはスケジュールに余裕をもって対応する。</li><li>2 導入したRPAツールや県域AI-OCRを活用した事務効率化や行政手続きデジタル化を推奨する。</li><li>3 補助金を活用してオンライン申請対応のシステム改修を行い、標準システムへの更新後も活用可能となるよう構築範囲を考慮して業務を行う。</li></ol>	

## ■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第6章	持続可能な地域経営				
	基本政策	第2節	行財政経営				
成果 指標	受付・窓口における町職員の対応に対する住民の満足度						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値
67.3%	-	-	-	-	-	-	70%

## ■ 3年間の目標

目 標						
	項 目 (単位)	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R6 目標
	社会保障・税番号制度	情報提供 NW 更新	情報提供 NW 更新			
	総合住民情報システム更新			仕様検討 改修	更新準備	更新
	住民基本台帳ネットワークシステム 更新			仕様検討	更新	
	行政デジタル化 AI・RPA	導入	拡充	拡充	拡充	拡充
	基幹系ネットワーク更新	更新				

## ■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R5 年度	・総合住民情報システムの標準システム導入検討（調達方式・移行計画・導入範囲）
R6 年度	・総合住民情報システムの標準システム導入

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
9	ぴったりサービスとのオンライン結合契約（総合住民情報システム改修）
2	ぴったりサービスとのオンライン結合完了
3	ぴったりサービスからのオンライン申請受付準備
随時	AI・RPA 対象業務の追加（シナリオ作成）

## ■目標又は改善策に対する取組内容

国の法改正等に基づく各種制度に対応するため、システム改修を実施した。  
申請管理システムを構築し、国の運営するぴったりサービスからの申請情報を連携できるようにした。

## ■評価

申請管理システムの導入により、令和5年2月から電子申請対応業務を拡充し、定常的にオンライン申請を受付する環境が整えられ、住民の利便性向上を図ることができた。

# 令和4年度 事業別行政経営計画書

所属名	行政課	No.	10
事業名	選挙管理委員会事業		

## ■基礎情報

目的	選挙制度の啓発と選挙事務の適正執行を図る。
事務内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 選挙管理委員会開催</li><li>・ 選挙啓発</li><li>・ 選挙人名簿定時登録事務</li><li>・ 在外選挙人登録事務</li></ul>
現在における経過又は課題	選挙は、国民が政治に参加し、主権者としてその意思を政治に反映させることのできる最も重要かつ基本的な機会であるため、町民一人ひとりが政治や選挙に強い関心を持つよう、よりいっそうの意識の向上が求められる。
令和4年度の目標又は改善策	令和4年度には、参議院議員通常選挙が予定されている。また、2月には知事選挙が、令和5年4月には県議会議員一般選挙、町議会議員一般選挙に見込まれるため、遅滞なく漏れなく対応する必要がある。

## ■第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第6章	持続可能な地域経営				
	基本政策	第2節	行財政経営				
成果指標							
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 目標値	R4 目標値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値

## ■3年間の目標

目標	共通投票所の導入について調査研究を進める。					
項目(単位)	R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	

## ■2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R5 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>任期満了に伴う愛知県議会議員一般選挙を適正に執行する。</li> <li>任期満了に伴う大口町議会議員一般選挙を適正に執行する。</li> </ul>
R6 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>明るい選挙啓発ポスターコンクール作品募集を学校経由から広報おおぐち等での周知に切り替える。</li> </ul>

## ■作業工程 (当該年度)

月	作業内容
4～	選挙啓発
5	明るい選挙啓発ポスターコンクール作品募集 (小中学校)
6	選挙人名簿定時登録
9	選挙人名簿定時登録 裁判員候補者予定者及び検察審査員候補者予定者の選定
12	選挙人名簿定時登録
1	新成人への選挙啓発パンフ等の配付
3	選挙人名簿定時登録

## ■目標又は改善策に対する取組内容

令和3年度執行の衆議院議員総選挙の反省を踏まえ、参議院議員通常選挙、愛知県知事選挙を適正に執行した。愛知県議会議員一般選挙の選挙長事務については、これまでの経緯を踏まえ、扶桑町の選挙管理委員会事務局と調整をして扶桑町に対応していただいた。

## ■評価

定期の定時登録、例年どおりの裁判員候補者予定者等の抽出を滞りなく実施した。

# 令和4年度 事業別行政経営計画書

所属名	行政課	No.	1 1
事業名	各選挙事業		

## ■基礎情報

目的	執行される選挙を滞りなく適正に執行する。
事務内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・参議院議員通常選挙（7月見込）</li><li>・愛知県知事選挙（2月上旬見込）</li><li>・愛知県議会議員一般選挙（令和5年4月）</li><li>・大口町議会議員一般選挙（令和5年4月）</li></ul>
現在における経過又は課題	選挙の適正執行、選挙経費の縮減、開票時間の短縮。 投票率の低下を防ぐ啓発。 大口町議会議員一般選挙においては、選挙公営、選挙公報制度について、わかりやすい説明に努め、適正に執行する。
令和4年度の目標又は改善策	令和3年度執行の第49回衆議院議員総選挙の反省を踏まえ、遅滞なく漏れなく適正な選挙事務の執行に努める。

## ■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第6章	持続可能な地域経営				
	基本政策	第2節	行財政経営				
成果指標	/						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 目標値	R4 目標値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値

## ■ 3年間の目標

目標	過去の選挙の反省を踏まえ、継続するところ、見直すところを見極め、適正な選挙事務執行に努める。					
	項目(単位)	R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標

## ■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R5 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>任期満了に伴う愛知県議会議員一般選挙を適正に執行する。</li> <li>任期満了に伴う大口町議会議員一般選挙を適正に執行する。</li> </ul>
R6 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>任期満了に伴う選挙の予定はないが、衆議院議員総選挙の執行があれば適正に執行する。</li> </ul>

## ■ 作業工程 (当該年度)

月	作業内容
7	参議院議員通常選挙
11~12	大口町議会議員一般選挙準備開始(発注等)
2	愛知県知事選挙
2~3	大口町議会議員一般選挙立候補予定者説明会
3	愛知県議会議員一般選挙告示



## ■目標又は改善策に対する取組内容

令和3年度執行の衆議院議員総選挙の反省を踏まえ、参議院議員通常選挙、愛知県知事選挙を適正に執行した。愛知県議会議員一般選挙の選挙長事務については、これまでの経緯を踏まえ、扶桑町の選挙管理委員会事務局と調整をして扶桑町に対応していただいた。

町議会議員一般選挙については、選挙公営制度、選挙公報発行についてほとんどの候補者が初めてのこととなるため、早期に説明会を実施して、各陣営からの質疑等に適切に対応した。

## ■評価

参議院議員通常選挙においては、比例代表・個人票の集計作業に時間を要したが、トラブルなく終了することができた。

知事選挙においては、前回、前々回に比べて多くの候補者がいたが、予定時刻より早く終了することができた。

# 令和4年度 事業別行政経営計画書

所属名	行政課	No.	12
事業名	統計事業		

## ■基礎情報

目的	行政活動の基礎データや、社会全体で利用される情報基盤として活用するため、一定の条件のもとに各種の統計調査を実施し、経済の発展や生活の向上に寄与する。	
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 統計調査員確保対策事業</li> <li>・ 農林業センサス</li> <li>・ 住宅・土地統計調査・</li> <li>・ 就業構造基本調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経済センサス調査区管理、基礎調査、活動調査</li> <li>・ 全国家計構造調査</li> <li>・ 労働力調査</li> <li>・ 国勢調査</li> </ul>
現在における経過又は課題	<p>統計調査の調査対象者から協力が得難くなってきている。また、協力が得られた場合においても、記入が不十分であることが多々見受けられ、職員の事務負担が多くなっている。</p> <p>各統計調査においてインターネットによるオンライン回答方式が導入されつつあるが、まだ普及・定着に至っていない。依然として、調査票の配布・回収及びその点検・整理を行う統計調査員が不可欠であり、その人材確保は課題となっている。</p>	
令和4年度の目標又は改善策	<p>令和4年度は就業構造基本調査及び令和5年住宅・土地統計調査単位区設定事務を行う必要がある。</p> <p>また、県の実施する労働力調査において、本町の一部が調査単位区となっているため、本町より調査員を推薦する。調査に当たっては、ホームページやチラシ等を通じて調査への理解・協力が得られるよう努めるほか、調査員が、調査の趣旨及び調査項目への理解を深め調査活動を円滑に進められるよう、調査説明会や調査対象への啓発等、フォローアップを行う。また、身に着けた知識や経験を今後も統計調査員として発揮し続けてもらえるよう登録への働きかけを行う。</p>	

## ■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第6章	持続可能な地域経営				
	基本政策	第2節	行財政経営				
成果指標	/						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 目標値	R4 目標値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値

## ■ 3年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切に統計調査を実施する。</li> <li>・必要な統計調査員を確保する。</li> </ul>					
項目(単位)	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R6 目標	
工業統計調査事業	実施					
経済センサス-基礎調査事業	実施				準備	
経済センサス-活動調査事業	準備	実施				
農林業センサス事業				準備	実施	
国勢調査事業	実施				準備	
住宅・土地統計調査事業			準備 実施	実施		
就業構造基本調査事業			実施			

## ■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R5 年度	住宅・土地統計調査
R6 年度	経済センサス・基礎調査事業 農林業センサス

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4-11	就業構造基本調査
11-3	住宅・土地統計調査単位区設定 住宅・土地統計調査準備
随時	経済センサス調査区管理事務・統計調査員確保対策事務

## ■目標又は改善策に対する取組内容

令和2年度実施の国勢調査・調査員に対するアンケートを元に、登録調査員の確保のための呼びかけを行った。

## ■評価

登録調査員確保の呼びかけにより、8名新規登録をすることができた。

# 令和4年度 事業別行政経営計画書

所属名	行政課	No.	13
事業名	土地取得特別会計事業		

## ■基礎情報

目的	町による土地取得を円滑に行うため、用地先行取得にかかる歳入歳出の経理を行う。	
事務内容	・（用地先行取得費）用地を先行取得するために、土地開発基金から貸し付けを受け、用地を取得するもの。	・（土地開発基金繰出金）土地開発基金の預金利子収入を同基金に積み立てするもの。
現在における経過又は課題	町道小口線の整備開始に向けて、先行取得道路用地の買戻しが生じる。基金不足のため積み増した基金を元に戻す等、適切な処理が必要となる。	
令和4年度の目標又は改善策	町道内津々線の整備に伴う用地先行取得を計画通り進める。	

## ■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第5章	未来へと引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する				
	基本政策	第1節	環境保全				
成果指標							
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 目標値	R4 目標値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値

## ■ 3年間の目標

目標	事業課の用地取得計画の進捗等に合わせて適切に用地購入等を行う。					
	項目(単位)	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R6 目標

## ■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R5 年度	用地交渉
R6 年度	用地交渉

## ■ 作業工程 (当該年度)

月	作業内容
	<p>土地開発基金の運用益を基金に積み立てる。</p> <p>用地交渉がまとまった際は、土地開発基金から資金を借り入れ用地購入及び物件補償を行う。</p>

## ■目標又は改善策に対する取組内容

所管課において地権者と交渉を行った。

## ■評価

用地の先行取得については所管課において年度内に交渉をまとめることができなかつたため、3月に減額補正を行った。

土地開発基金預金利子の積み立てを失念していたため、今後、このようなことがないようにする。